

# 豊庄だより



第 703 号 2022 年 4 月 4 日

コロナ禍の中での入園式は今年で 3 年目。どのようにしようかと職員間で何度も話し合いました。そして、(ご存じのように) 年齢別に入れ替え制にしてホールで行うしかないという結論に達しました。0～5 歳児まで 1 クラスずつ合計 6 回の入園式をすることになったのです。みんなで話し合った結果ですが、冷静に考えると、「園長の話」を 6 回することになる、それをするのは私・・・。しかも、年齢別なのでそれぞれ

福岡市早良区南庄 2-26-13  
社会福祉法人林生会豊庄保育園  
園長 西尾 達



ひまわり組入園式

の発達段階に応じた話をしなければならない・・・。これまで会合であいさつを頼まれたとき、「同じ内容の話はするのは避ける、常にオリジナリティを大切に」というのが私が信条としてきたものですが、今回はかなり難題です。しかし、やるしかありません！

話の内容を考え、何点かをメモにして臨みました。ところが、みなさんの前に立っていざ話そうとすると、すみれ組の体操服やゆり組の制服、そしてなによりもみなさんの表情が目に入り、予定していた内容はどこかに飛んで行ってしまい、勝手に別の話をしてしまったり・・・。今号は入園式で話したことをクラス別に再現しようとしたのですが、後の祭りです。そこで、やむをえず 1 回のあいさつだったらきつこう話しただろうという内容を書くことにしました。

園長の西尾です。今年で 16 年目を迎えます。入園、進級、おめでとうございます。今日から新しい生活が始まります。期待と不安でいっぱいだと思います。今年は 107 人でスタートしますが、みなさんの中には、保育園の生活を初めてという方もいらっしゃいます。朝、預けて別れるつらさも経験することになるでしょう。慣れてくれるかなと心配でしょう。4 月保育園は泣き声で溢れます。預けて別れるときはつらいでしょう。保育士が抱っこをしても泣き続け、慣れるまでは時間がかかると思いますが、「あの時はよく泣いていたなあ」と思える時が必ず来ます。



全員の写真を撮りたかったのですが・・・

保育園のよいところは、「ひとりではない」ということです。子育てで悩むことがあった時、相談して下さい。決して一人で抱え込まないでください。「話すのはちょっと・・・」と思われる方は、事務室前の緑の箱にお手紙をどうぞ。私が、大切にしたいことは、子どもを真ん中において、保育園と保護者がいっしょに子育てをするということです。豊庄保育園では、誕生会の後の懇談会や「我が家の子育て奮闘記を語る会」など、子育ての悩みや喜びを話し合う場を作ってきましたが、コロナ禍の中で縮小・中止が続いています。早く、これまで当たり前できていたことが復活できることを望んでいます。その時はぜひ参加してください。大いに語り合しましょう。